

1. 実践研究テーマ

「主体的・対話的で深い学び」を育む授業づくり
 ーより効果的なICTの活用を目指してー

2. 取組の内容(協力校等との連携等を含む)

- 5月15日 【学力向上実行プラン作成検討会】 指導主事
 - ・拠点校と協力校との課題を共有し、小中連携における共通の取組についての検討
 - ・拠点校と協力校とにおける学力向上実行プラン共有
- 7月14日 【第1回学校訪問】 鳴教大担当教官・指導主事
 - ・1学期の取組の検証
 - ・今後の授業改善、校内研修の進め方
- 7月18日 【拠点校GIGA研修】 総合教育センター指導主事
 - ・効果的なICT活用についての研修
- 8月24日 【第2回学校訪問】 鳴教大担当教官・指導主事
 - ・全国学力・学習状況調査、ステップアップテストの結果、課題の共有
 - ・課題を基に授業改善、取組内容の見直し
- 9月19日 【協力校の公開授業参観】(北井上小)
 - ・研究授業(外国語)
- 11月6日～17日 【授業参観ウィーク】(北井上中)
 - ・相互授業参観、授業研修会
- 11月8日 【第3回学校訪問】 指導主事
 - ・研究授業、授業研究会
- 1月29日 【研修会】 鳴教大担当教官・指導主事
 - ・今年度の取組の検証



3. 取組の成果

○ 教職員の変容

- ・小中連携により、小中一貫した取組を意識するようになった。
- ・ICTを活用していなかった教員が授業でMetaMojiを活用したり、ICT研修に参加した教員が、学んだことを他の教員と共有したりした。
- ・昨年度は、とにかくICTの活用頻度を上げることに重点をおいてしまっていたが、今年度はICTを活用することで思考を深め、さらに表現力を高めることを念頭におきながらMetaMojiを中心に、協働学習を取り入れたり、録画・録音機能等も効果的に取り入れたり、工夫が広がった。
- ・教員間で学び合う風土が生まれた。

○ 児童生徒の変容

- ・「心の天気」入力により、自分の心の状態を知ることによって1日をスタートすることができるようになった。これにより、心の安定を図り、意欲的かつ主体的に取り組む学習の基盤作りができた。
- ・生徒のICT活用能力が上がり、表現するためのツールとして、さまざまな工夫が見られるようになってきた。特に、レポートのまとめやポスター・プレゼン作成において、相手にわかりやすく伝えるために思考を凝らす様子が見られた。
- ・ICTを活用した協働学習を取り入れることで、対話の時間が多くなり、相互の学び合いが生まれた。